

2026年9月9日

各 位

**豪州Wildfire Energy社と低コストバイオメタノール製造プロセスの共同開発に合意
～持続可能な航空燃料（SAF）製造を視野に実証プロジェクトを推進～**

当社（社長：池信 省爾）は、豪州のクリーンエネルギー技術開発企業であるWildfire Energy社^{*1}とバイオマスおよび廃棄物を原料として低コストのバイオメタノールを製造し、将来的に持続可能な航空燃料（SAF）への展開を目指す実証プロジェクトを共同で推進することに合意しましたので、お知らせいたします。

本プロジェクトは、オーストラリア再生可能エネルギー庁（ARENA）が2026年7月6日に発表した「[Sustainable aviation fuel takes off at Brisbane Airport](#)」による315万豪ドル（日本円約3.6億円）の助成金および当社の資金支援のもと実施されます。Wildfire Energy社のMIHG技術^{*2}と当社のメタノール合成技術^{*3}を組み合わせることで、バイオマスや廃棄物を低コストのバイオ燃料へ転換するモジュール式プロセスの構築を目指します。

本プロジェクトは、2026年から2028年末までの実施を予定しており、パイロット実証とフィージビリティスタディの2つの活動で構成されます。

＜パイロット実証＞

Wildfire Energy社のガス化プラントと、当社が開発するメタノール合成装置を接続し、多様な原料からバイオメタノールを製造する実証試験を実施

＜フィージビリティスタディ＞

年間20万トン以上の廃棄物からクイーンズランド州内でバイオメタノールを生産するプロセスについて、経済合理性および環境適合性を調査するとともに、バイオメタノールのSAFへのアップグレードに関する調査を実施

当社は、パーパスである「探索精神と多様な技術の融合で、地球を笑顔にする。」を基軸に、2030年のありたい姿である全社ビジョン「マテリアルの知恵で “未来” に貢献する、事業創発カンパニー。」を実現することで、サステナブル（持続可能）な社会作りに貢献してまいります。

以 上

【お問い合わせ先】

三井金属 経営企画本部 コーポレートコミュニケーション部

TEL 03-5437-8028 E-mail PR@mitsui-kinzoku.com

【ご参考】

*1 Wildfire Energy 社 会社ウェブサイト: <https://www.wildfireenergy.com.au/>

豪州ブリスベンを拠点とするクリーンエネルギー技術開発に取り組む企業で、独自の MIHG 技術を活用し、廃棄物やバイオマスを再生可能エネルギーや燃料へ転換する技術開発に取り組んでいます。

*2 MIHG技術 (Moving Injection Horizontal Gasification)

バイオマスや都市廃棄物 (MSW) などを、前処理や選別を必要とせずに高品質な合成ガスに変換するガス化技術

*3 当社のメタノール合成技術

当社が連携するイーセップ株式会社（本社：京都府相楽郡）と開発した成果であり、多孔性セラミック分離膜とメタノール合成用の触媒を組み合わせた当社独自の膜反応器技術。本技術により高いメタノール収率を実現し、従来の設計で必要とされていた未反応ガスの再循環を不要にします。